

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルハウスにここ		
○保護者評価実施期間	8年 1月 7日		～ 8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	8年 2月 3日		～ 8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画に沿った、細かいところまで配慮された支援が行われていますか。	それぞれの個性を受け止め、個人ベースで活動への参加を促し、必要な支援を行っています。	行った内容を具体的に、また次に行うべき内容はどのような方法で行われべきかを記録し、次に繋げて行きます。
2	事業所の活動プログラムが固定化しないように工夫されていますか。	内容が重複しないようなプログラムを取り入れ、季節のイベントや子どもたちにあわせた活動を心がけています。	プログラムの内容を充実させるために、研修などを通して強化をはかります。
3	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	契約時や更新時に相談や申し入れには迅速に対応する体制を整えていることを伝えています。	申し入れがあった場合には、迅速に時間を作り相談に対応できるように心がけていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故等(怪我等を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況について説明がされていますか。	現在、大きな事故も発生していませんが、事業所内にはマニュアル等は掲示してあります。協力医療機関との提携もなされています。	契約時や更新時に丁寧な説明を行っていきます。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っていますか。	研修会やプログラムを考える為の知識が乏しく、開催に至っていません。	研修等で家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)に関する知識を身につけるなど、知識の拡充を行っていきます。
3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしていますか。	保護者の参加しやすい計画や時間帯・場所の設定が課題です。	計画はしましたが、参加者が少なかったので開催案内を行い、内容の工夫・充実を図ります。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルハウスにここ

公表日 令和 8年 2月 15日

利用児童数 3

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2			1		
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1			1	地域の子育てサロンへの参加や図書館へ出かけて交流をはかっている	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2				1	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1			1	交流会をかねて、運動会を開催し楽しい時間を過ごした
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルハウスにここ					公表日	令和8年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースがあるが、活動によっては机や椅子の配置を変え活動の領域を広げている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要な数が配置されている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用者の動きがよく見えるよう職員間で声かけを行いながら、立ち位置を工夫している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		常時、空気清浄機を稼働し、活動によって使用する部屋を移動し安全に活動に取り組めるように支援をおこなっている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンできる部屋や場所がある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		活動の確認を行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者の方々へのアンケートを配布しご提出いただいたアンケートをもとに次年度に向けて業務改善に繋げていく。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議等で意見を聞き取り、業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は行っていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に研修に参加できるように体制を整えている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、HPで公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面談や担当者会議、連絡帳などで意向等を確認し計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員で共通理解を図り作成している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有を行い、支援計画に沿った支援を意識して取り組んでいる。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを活用している。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援、家族支援、移行支援など必要な支援項目が支援内容に設定されている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		その日の活動のねらいや注意点の共有を行う。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		「楽しかったね」で終わり、次回の通所に繋がるように工夫している。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて個別や小集団で活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動のねらいや注意点の確認を行う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日や後日、反省点が気づいた点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別記録を残し、次の支援や改善に繋げる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングや担当者会議を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加し、会議内容を職員が共有できるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関と連携の体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて幼稚園・保育園に電話連絡を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、就学時に移行シートを準備し情報共有を図る。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターとの連携を図れる機会を設け、助言を頂きたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育園や認定こども園との交流はないが、地域の子育てサロンに出かけている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を通して活動の様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族が参加できる研修会の情報提供は行っている。	ペアレントトレーニングの必要性は感じているが研修会に至っていない。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別にこどもの意思の確認を行い、保護者の意向を確認する機会を設け支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行い、同意の署名を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時相談等を受け入れる体制を整えている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		少人数での保護者会を開催したが、参加者が少なかった。	少人数で良かったとの声も聞けたが、日時・時間の検討し周知の回数を増やしたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れがあった場合、電話連絡や個別での面談など迅速に対応できるように心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNSを活用し、活動予定は毎月お便りを発行し周知している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理は徹底している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもや保護者の気持ちに寄り添っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	必要性は感じているが、現時点ではそのような機会は設けていない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事業所内で委員会を設置しており、定期的な委員会の開催、職員会議での研修を実施している。	マニュアル等の周知を行い、子どもと共に避難場所への移動を計画する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		事業所内で避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者への聞き取りで職員への周知を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者への聞き取りで職員に周知し、食後の掃除や消毒を徹底して行っている。	始めて提供するおやつや食材については、随時保護者に連絡をとる。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所内での避難訓練は定期的に行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時、避難場所等の周知を図っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故防止のために、テーブル・椅子の配置を考慮する。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内で委員会を設けており、委員会の実施と研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		原則、身体拘束は行っていない。今後必要な場合は事前に同意を得る。		